

The background is white and filled with various overlapping circles. Some are solid colors like blue, pink, yellow, and light green. Others have patterns: green polka dots and green diagonal stripes. The text is centered and has a slight drop shadow.

医師になる

The future is yours.

2021年版

目次

● 本小冊子を手にとった皆さんへ	1
● 病院長からのメッセージ	2
浜松医科大学医学部附属病院	病院長 松山 幸弘 先生
静岡医療センター	院長 中野 浩 先生
沼津市立病院	病院長 卜部 憲和 先生
静岡県立静岡がんセンター	病院長 上坂 克彦 先生
静岡市立清水病院	病院長 藤井 浩治 先生
静岡市立静岡病院	病院長 小野寺知哉 先生
焼津市立総合病院	病院事業管理者兼病院長 関 常司 先生
静岡県立こども病院	院長 坂本喜三郎 先生
静岡県立総合病院	院長 田中 一成 先生
静岡県立こころの医療センター	院長 村上 直人 先生
中東遠総合医療センター	企業長兼院長 宮地 正彦 先生
浜松赤十字病院	院長 奥田 康一 先生
浜松医療センター	院長 海野 直樹 先生
浜松市国民健康保険佐久間病院	院長 三枝 智宏 先生
● 医師になるまでの道	16
● 医師としての道	17
● 医師の活躍の場	18
● 大学医学科における学習の目標	19
● 我が国の医療の課題	21
● 静岡県の医療の現状	22
● 静岡県内で活躍する先輩医師の声	24
● 本小冊子を読んで	25



本小冊子を手にとった皆さんへ

本小冊子を手にとっていただいてありがとう！

皆さんにとって、吉田兼好の「徒然草」は馴染み深い随筆だと思います。良かったら、徒然草の第123段を読んでください。

そこでは人に必要なものとして、衣料、食料、住居に加え四つ目に医療を挙げています。医療は、古くから私たちが安心して暮らしていくために欠かすことのできないものでした。現代においては、医療の重要性はますます大きくなっています。

本小冊子は皆さんが医師という仕事を理解し、その職業に就いて自分を育ててくれた地域に貢献する気持ちを高めるきっかけになってほしいとの想いで作成されました。

ではまず、静岡県内の14病院の先生方から皆さんへ寄せられたメッセージを読んでください。





浜松医科大学医学部附属病院

病院長 松山 幸弘 先生からのメッセージ

—強い志を持って思い通りの人生を生きる—

受験生のみなさん

新型コロナウイルスが蔓延し、高校生活や受験勉強も多くの制限や規制が覆い被さり、大変ストレスの多い時間を過ごされているかと思います。私たち医療者は、激増しているコロナ患者さんの治療に奔走しながら、本来大学病院で治療すべき重篤な疾病を持つ患者さんも同時に治療しなければなりません。

新聞報道されているように、医療崩壊、医療の限界、など悲観的な言葉が多く見られますが、どんな状況であれ、私たち医療者は悲観的になるべきではなく、なっぺはならないと思いつながら患者の治療にあたっています。アランの幸福論にあります、「悲観主義は気分のものであり、楽観主義は意志のものである」と述べています。つまり幸福とは、受け身の姿勢で待っていても訪れるものではなく、自分から積極的に行動してつかみとるものなのです。コロナ禍で生活制限や多くの規制が続いて、気持ちがあふさぎこみそうになったとしても、前を向いて何事もプラスに考え、この危機を乗り越えることが大切でしょう。

さて、みなさんが医師になりたい一番大きな理由はなんでしょうか？
病気で困っている患者さんを少しでもよくしたい、力になりたい、と思うから医師を目指すのではないのでしょうか。

コロナ蔓延のため、集合型の受験勉強が制限された環境でいかにこの難関を乗り切るか。どうやって受験勉強のモチベーションを上げるのか。これが受験の勝敗を決めるかと思つますし、またこの経験は今後の人生において貴重なものとなるに違ひありません。こんな時こそ何者にも惑わされない強い志を持つべきです。ベンジャミン・デイズレーリの言葉ですが、

「行動はいつも幸せをもたらさないが、行動なくして幸せはない」

成功したい、しかし失敗は嫌だというのは無い物ねだりである。成功したいのであれば積極的に行動すべきです。中国の明の思想家「陽明」によって唱えられた「知行合一」という考えがあります。これは「知っていて行わないのはそのことを知らないのと同じである。」ことを意味します。この考え方は、陽明学の中でも最も有名な思想として知られ、吉田松陰は、松下村塾で「知行合一」の精神によって知識を着実に実践できる人を育てたとされています。知識だけあつても実践に移せないでいることほどもどかしいことはありません。またこれほど残念なことはありません。

実践に移すためには奮い立つ勇気と力、そして周りの人から得られる共感が必要です。「知っていたけど、やっておけばよかったなー」とならないように！！

病院長 松山 幸弘



【病院データ】

所在地：浜松市東区

診療科目数：23科目

病床数：613床





静岡医療センター

院長 中野 浩 先生からのメッセージ

皆さんは、映画やドラマの主人公の医師にあこがれることがあるでしょうか。私の場合、医師を目指したきっかけは、高校生の時に父親がケガで入院した時の主治医への憧れでありました。

大学から静岡に赴任して6年、5回のころざし育成セミナーにかかわらせていただき、多くの高校生の医師、医療人に対する興味を直に感じてまいりました。皆さんへのメッセージは、私自身を振り返って、恥ずかしながら自分に足りなかったことを申し上げたいと思います。

我々の多くは、「無尽蔵な体力」や「オールマイティな知力」を持ち合わせていないと思います。そこで大切な「3つの能力」を磨くことをメッセージとさせていただきます。

- (1) Grit「やり遂げる力」
- (2) Positive mindset「前向きな考え方」
- (3) Reflective practice「省察的に実践できる力」

の三つを上げさせていただきます。三つ目の省察的実践力の例は、中村俊輔選手が日々の練習や試合において気づいた点を書き溜めた「サッカーノート」であると、ある雑誌に書いてありました。自己を振り返り、現状を認識して、適切な目標設定をした上で、日々の難題に取り組むということだそうです。

皆さんも是非、今後、省察的実践力を磨いて、医療人を目指していただきたいと思います。

院長 中野 浩



【病院データ】

所在地：駿東郡清水町
診療科目数：27科目
病床数：450床





沼津市立病院

病院長 卜部 憲和 先生からのメッセージ

高校生のなりたくない職業ランキングでは10位以内に入っている医師ですが、その理由は責任の重さと勤務環境にあると思われれます。医療職の中でも医師には人の命を預かるということから高い倫理性と尊厳が要求されますが、それだけに人から尊敬される職業でもあります。また、自身の知識・技術・経験に基づいて最善と判断した医療行為を行うことにより病気の人が日常に戻っていく姿を見るたびに強い達成感を得ることができます。

一方、勤務環境の面では厳しいものがありますが、人口当たりの医師数は徐々に増加しつつあり、世間では働き方改革が叫ばれるようになり、今後改善されていくものと考えます。

一般的に医師というと患者さんの治療を行う臨床医を考えがちですが、医師には研究者という側面もあります。病理学や薬学、生理学や生化学などの基礎医学は遺伝子学などを見ればわかるように医学そのものを発展させるものです。また、公衆衛生学や医療経済学など社会構造と深いかわりを持つ分野もあり、医学は非常に広い範囲の広がりを持つ分野です。

医師になるには大学入試という難解な関門があるものの、広がる将来の可能性を考えて是非とも挑戦していただきたいと思います。

少子高齢化が進行する日本社会には医師はなくてはならない職業です。若い諸君が医師を志し、社会に出てくることを切に望みます。

病院長 卜部 憲和



【病院データ】

所在地：沼津市
診療科目数：24科目
病床数：387床





静岡県立静岡がんセンター

病院長 上坂 克彦 先生からのメッセージ

医師を目指す高校生の皆さんへ

新型コロナウイルスと人類との闘いのさなか、不安を感じながらも勉学に励んでおられることと思います。わずか1年半前までは予想もしなかった感染症に直面し、私たちの生活は大きく変化し、人の価値観や社会のあり方までもが変わろうとしています。そんな中であっても、健康や人命を大切にす価値観は普遍的で変わることはありません。

「なぜ医師になりたかったのか」時々聞かれることがあります。私が高校時代に医学部受験を決めた時には、人に関わる仕事をしたいと思っていただけでした。何が何でも医師でなければならないほどの強い動機もなく、また時々聞くように、身内の病気をきっかけに自分が病気の人を救えるようになりたいと思った、というような高尚な使命感のようなものありませんでした。

しかし、医師になってから、しかも主にながん治療を中心とする肝胆膵外科の道に進んでからは、やりがいのあるこの仕事を選んで本当に良かったと思っています。もう一度生まれ変わることがあったら、また同じ仕事を選びたいと思うほどです。

現在医学部を目指している高校生の皆さんも、その志望理由はいろいろでしょう。どのような志望理由であれ、医師という職業は、仕事そのものが他の人のためになり、かつその中で自己実現をしていくことができ、一生をかけるだけの価値のある仕事だと思っています。医師を目指す若い皆さん方に、少しでも人生の先輩として、健康に気を付けつつも頑張ってくださいようエールを送りたいと思います。

病院長 上坂 克彦



【病院データ】

所在地：駿東郡長泉町

診療科目数：37科目

病床数：615床





静岡市立清水病院

病院長 藤井 浩治 先生からのメッセージ

医師を目指している高校生のみなさん、小さいころの夢は何でしたか。最初から医師になることを目指していたわけではないが、色々な経験を積み、いつか医師になることを夢見ていたという方も多いでしょう。

医師には大きく分けて2種類あると思っています。まずは大学などで世界の最先端の医療や医学（システムも含む）を学び医学の貢献に役立つことで患者さんを救いたいと思っている医師、もう一つは地域にいて地域医療の中心として患者さんを守りたいと思っている医師。でも小さいころ医師にあこがれたのは、地域で患者さんを救う正義の味方のイメージではなかったでしょうか。

またもう一つお話ししなければならない大切な事があります。医師には高度の倫理観と医師としての理念、そして誇りが必要です。なぜならば医師は人の生命に関与し、そのことにより、患者さんと家族の人生にも大きく関与することになるからです。これを強く心にとどめ、立派な医師になってください。

病院長 藤井 浩治



【病院データ】

所在地：静岡市清水区

診療科目数：26科目

病床数：463床





静岡市立静岡病院

病院長 小野寺 知哉 先生 からのメッセージ

高校生の皆さんへ

皆さんは医師になることに興味を持ちました。医師は患者さんの診療を行います。仕事は忙しいこと、患者さんの診療には常に気が抜けないことがつらさとしてあります。しかし、自分が行う診断、治療で患者さんが治る、状態が良くなることには充実感があります。この充実感、仕事のつらさを上回るものですし、患者さん、家族からの感謝も励みとなります。

自分の能力の程度から患者さんの生命に影響が出てくることも責任として、医師にのしかかります。このため常に新しい知識が必要で、一生、勉強の継続となります。今、皆さんが高校でしている勉強は社会で暮らし、働くための基礎的な知識と大学受験に必要な知識です。今は勉強がつらいと感じている人もいるでしょうが、医師としての勉強は、目の前の患者さん、そして次に診る患者さんに直接役立つものです。この実学は勉強として楽しいものです。また、医師は研究を行うことで医学、社会に貢献することもできます。

医師はいろいろな働き方ができますし、いろいろな可能性がひらけています。皆さんの医師へのチャレンジを期待しています。

病院長 小野寺 知哉

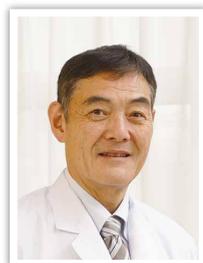


【病院データ】

所在地：静岡市葵区

診療科目数：31 科目

病床数：506 床





焼津市立総合病院

病院事業管理者兼病院長 関 常司 先生 からのメッセージ

医師を目指す高校生の皆さま、こんにちは。

皆様は医師というと、地域に密着した病院や地元の開業医の先生方を思い浮かべるとと思います。しかし現代の医療は格段の進歩を遂げている一方で、まだまだ有効な治療法が確立していない難病も数多く残っています。そのため大学病院では臨床・教育および研究を合わせて行っている医師達もいます。また専門の研究機関では、医師の資格を持ちながら診療は行わず、もっぱら基礎研究に打ち込んでいる人たちもおります。

例えば2020年から流行した新型コロナウイルス感染症では、世界中で多数の医師が最前線で有効な治療法を模索しながら懸命に対応してきました。一方、このパンデミックを終結させる切り札として期待されている mRNA ワクチンが、今までの常識では想像できない程の驚異的なスピードで臨床応用されました。この画期的な新規機序によるワクチン開発が成功した背景には、専門的知識を持つ医師の長年に渡る地道な研究成果がありました。

このように医師の仕事の実態はかなり幅広いものであり、それぞれに重い責任を伴いますが、間違いなくやりがいのある職業です。まずは病院見学などの機会を通して当院のような地域中核病院で自分達の臨床業務に誇りを持ってアクティブに働いている医師達の姿を良く見て、医師という職業に興味を持っていただき、ひいては将来の日本の医療を支えていくところぞしを持っていただければ幸いです。

病院事業管理者兼病院長 関 常司



【病院データ】

所在地：焼津市
診療科目数：28科目
病床数：471床





静岡県立こども病院

院長 坂本 喜三郎 先生 からのメッセージ

医師になる。

その“こころざし”を持ち、“こども”というキーワードで繋がっている方がこのページを読んでいることと思います。

“ようこそ！小児の総合病院：静岡県立こども病院へ”

ここは、小児科医が半分、小児科医ではないけれども小児に対する医療（ほとんどの外科系の科と麻酔科、放射線科、病理科など）に携わる医師が半分で構成されている、静岡県小児医療“最後の砦”の役割を担っている病院です。

何を隠そう、私自身も小児科医ではありません。心臓血管外科医として先天性心疾患に対する外科治療を専門にしております。

『なぜ、こどもの医療にハマったのか？』ですって？

なぜって・・・こどもは、未来そのものだからです。

こどもが元気になれば、親が元気になります。こどもが元気になれば、静岡が、日本が元気になります。病気と闘っている子が元気になれば治療に関わった人は10倍元気になる、そのことを経験したからです。

医師を目指している諸君。医師になるにはここからもう一踏ん張りが必要です。が、君たちならきっとできます。数年後、一緒に仕事をする日が来るのを願ってエールを送ります。

頑張れ、この国の未来の医療を担う未来達！

院長 坂本 喜三郎



【病院データ】

所在地：静岡市葵区

診療科目数：29科目

病床数：279床





静岡県立総合病院

院長 田中 一成 先生からのメッセージ

高校生から大学生、大学生から社会人と、人生にはそれまでとは異なる大きなステップがあります。特に、医師になるためには医学部を卒業しなければなりませんから、他学部の大学生とは異なり高校生時代に職業の選択をしなければなりません。

日本のこのシステムは必ずしも万国共通のものではなく、一般の大学を卒業してはじめて、医学部に進学することが許される国もあります。日本においても人間的に成熟した医師を養成するために後者のシステムを導入すべきだと主張する人たちもいますが、多くの医学生は少しでも早く医師になって社会に貢献したいと願っているはずです。

鉄は熱いうちに打てと言われるように、若い時期に医師になるための教育や経験を積むことも大変重要です。最近の医学、医療の発展は目覚ましいものがありますが、それらを吸収するだけでなく、リードしていくために、医学医療の現場は情熱にあふれた若い力を必要としています。高校生の皆さんの中には医師を目指すべきか迷っている方もおられるかと思いますが、本小冊子が皆さんの進路決定に少しでもお役に立てれば幸いです。

院長 田中 一成



【病院データ】

所在地：静岡市葵区

診療科目数：31科目

病床数：712床





静岡県立こころの医療センター 院長 村上直人 先生からのメッセージ

現行の制度では一人前の医師になるためには、医学部6年、初期臨床研修2年、そして専門医となるための後期研修3年とあわせて11年かかります。このように一応一人前と認められる医師になるためには長い年月を要し、またその後も医学の進歩や医療制度などの変化について行くためには常に学び続ける必要があります。かつては学びの時期は、生活の糧を得るためにアルバイトなどで糊口を凌ぐ必要があったのですが、こうしたギルド的な徒弟制度は次第に改善し、現在では医学部を卒業し、研修医と呼ばれる5年間は、学ぶことや生活をしてゆく上で困らないだけの収入が保証されています。

私の専門領域である精神科においては、学会の認定する精神科専門医の他に、精神科病棟で働く上で必須な国の指定する精神保健指定医の資格があるのが特徴です。精神科医となるためには、これらの資格を医師国家試験合格後の5年間に取得することがまずは目標となります。またサブスペシャリティー領域として、児童精神医学、老年精神医学、総合病院精神医学などの学会専門医がありますが、こうした資格は後期研修が終了した上でのおのおのが選択してゆくものです。

ご存じのように静岡県は、全国的にみて医師数の少ない県です。そのこともあって私達は一人でも多くの良質な臨床医を社会に送り出す責務があります。そしてこうした学びの場として、静岡県は決して他県に劣るものでないと自負します。将来医師となられる高校生の皆さん、私たちが提供する学びの門を叩いてはみませんか？お待ちしております。

院長 村上直人



【病院データ】

所在地：静岡市葵区
診療科目数：4科目
病床数：280床





中東遠総合医療センター

企業長兼院長 宮地 正彦 先生からのメッセージ

「医師になる」ことは、ただ単に職業を選ぶに留まらず、将来の可能性を広げることです。生涯努力し続ける人、進歩し続ける人になることです。目標を一つ達成すると、次の目標が見えてきて、また頑張ろうと思ひ、これが生涯続く職業だと思います。常に人のため、自分のために良いことをしたいと思ひ、切磋琢磨したくなる職業です。

切磋琢磨するためには、自分一人ではできません。他者と接することが大切です。手を洗うとき、片手だけではしっかり洗えません。両手で洗うことで、片手だけではなく、もう一方の手もきれいになります。人が成長するためには、他者や問題との絶え間ない接し合いが必要です。私たち医師は患者さん、病気と真摯に向き合うことで、己が鍛えられます。だから、つらいこともあります。頑張ったからといっても、いつも良い結果が得られるわけではありません。つらい思いをし、経験を積み、知識を身に着け、さらなる高みを目指します。患者さんが元気になって微笑みかけてくれる笑顔を見たくて、また勉強して、良い医師になろうと努力したくなります。また感謝されることが新たな活力を生みます。医師として、人として、常に成長を求められる職業だからこそ、大変やりがいがあります。

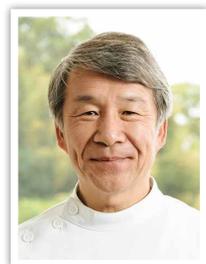
医師になるための適性はあるのでしょうか。そのような適性はありません。自分になりたいと思ひ、やり続けることができたのなら、適性があったんだと思ひます。医師の可能性はとても広いです。医師への道に足を踏み出してみませんか。目の前に広がっていることに気付くでしょう、君を惹きつけてやまない可能性が。

企業長兼院長 宮地 正彦



【病院データ】

所在地：掛川市
診療科目数：33科目
病床数：500床





浜松赤十字病院

院長 奥田 康一 先生 からのメッセージ

将来医師になろうと考えている高校生の皆さんに、医師という職業を選択する上で何か参考になるようなことがあればと筆を取りました。

私自身の体験から申しますと、自分が小学校低学年の時に父親が心臓の手術を受けたことが医師を志すきっかけとなりました。父が手術後社会復帰して人並み以上に健康に過ごすことができるようになり、大変感動したことを思い出します。その後しばらくの間は将来の職業について特に意識していませんでしたが、大学受験を控えた時期にあらためて自分の将来について考え直したところ、医師以外は思い浮かびませんでした。当時近親者に医療関係者は皆無でしたのでやや不安もありましたが、期待のほうがはるかに大きかったことを覚えています。

卒後結局、心臓外科ではなく消化器外科医になりましたが、医師という職業を選択して本当によかったと今でも思っています。時間的な制約や体力的にきついという面もありますが、多職種と協力して一人の患者さんを救うことができるのはなんといってもやりがいがあります。後悔などまったくありません。

現在は卒後2年間の初期臨床研修医制度がありますので、私たちの時代と異なり医師としての将来像を考える時間と経済的余裕が十分あります。皆さんは安心して医療の世界に飛び込んできてください。期待しています。

院長 奥田 康一



【病院データ】

所在地：浜松市浜北区

診療科目数：22 科目

病床数：312 床





浜松医療センター

院長 海野 直樹 先生からのメッセージ

医師を志すあなたに贈る言葉

この冊子を皆さんが手に取るとき、COVID-19のパンデミックは終息していますでしょうか？

原稿執筆時の2021年6月、日本は感染第4波のまっただ中にあり、当院にも多数のコロナ患者さんが入院しています。そのため一般診療にも大きな影響がでています。そのような状況下で、病院の職員達は日夜懸命に患者さんのケアに当たっています。毎週末、約2000人の市民へのワクチン接種も行っています。言うまでもなく医療は社会変化の影響をもろに受け、その波を我々は次々と乗り越えて行かなければなりません。個人でできることは限られていますが、私たちは患者を救うのだという共通の志でつながった仲間達と共に、その荒波に立ち向かっています。

医師になるということは仲間達と手を携えて、^{たずさ} 怯むことなく常に前進するということです。とりわけ医師には看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士、医療事務など多くの職種の人たちのリーダーであることが求められます。もちろん若手医師の時代はベテラン医師の指導を受けるので過剰な責任を負わされることはありませんが、医師である以上、決断を迫られることは多々あります。正しい決定が下せるように、私たちは勉強を続け、努力するのです。

人類の叡智^{えいち}の結晶ともいえるワクチンがCOVID-19を駆逐^{くちく}し、社会が元に戻ることを切に願っています。しかし、地球温暖化、グローバル社会においてCOVID-19を克服しても次の感染症が遠くない将来再び人類を襲うと予測されています。だから私たちは常に備えておかなければいけません。病に苦しんでいる人を救う、その人たちの苦しみを和らげてあげたい、その信念の元、医師達は今日も働くのです。

院長 海野 直樹



【病院データ】

所在地：浜松市中区

診療科目数：34科目

病床数：606床





浜松市国民健康保険佐久間病院

院長 三枝 智宏 先生からのメッセージ

私たち人間は細胞の集まりで、細胞には核があり、核の中には DNA があります。そこは生命の神秘にあふれるとともに、病気を治すヒントが隠されています。その解明に情熱を傾ける医師たちがいます。

人間は一人ぼっちではなく家族や地域社会の中で悩み、喜び、助け合いながら生きています。その中で体調を崩すことがあるかもしれませんが、周りの人の力で元気を取り戻すことがあるかもしれません。そんな「人」としての場で地域医療に勤しむ医師たちがいます。

栄養失調や伝染病に苦しむ国、生活習慣病の増加に悩む国。地球上にはいろいろな地域があり、気候や文化の違いで健康問題も異なります。国全体、世界全体の健康を守ろうと努力する医師たちがいます。

医師の活躍する場は様々で、関わる領域も自然科学ばかりでなく心理、社会科学的な分野にまで及びます。皆さんが小学校からこれまで学んできたことはすべて医師の仕事につながりますし、学問の集大成といっても過言ではないでしょう。医師になるといろいろな可能性が皆さんの前に広がるのです。是非、医師になってチャレンジしてください。

院長 三枝 智宏



【病院データ】

所在地：浜松市天竜区

診療科目数：7科目

病床数：40床





医師になるまでの道

医師になるには、まず大学の医学科へ入学し、6年間で専門的な知識や技能を修めます。大学では、教養科目、基礎医学、臨床医学を段階的に学んでいき、4年生で全国共通の共用試験に合格した上で、医療現場で患者さんに接する臨床実習を行います。このような教育課程を基本に、各大学で教育理念や社会のニーズに合わせて独自のカリキュラムを用意しています。

6年生の後期には、卒業試験、医師国家試験が続きます。これらに合格し、医師免許を取得することが必要です。



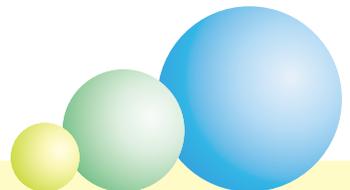
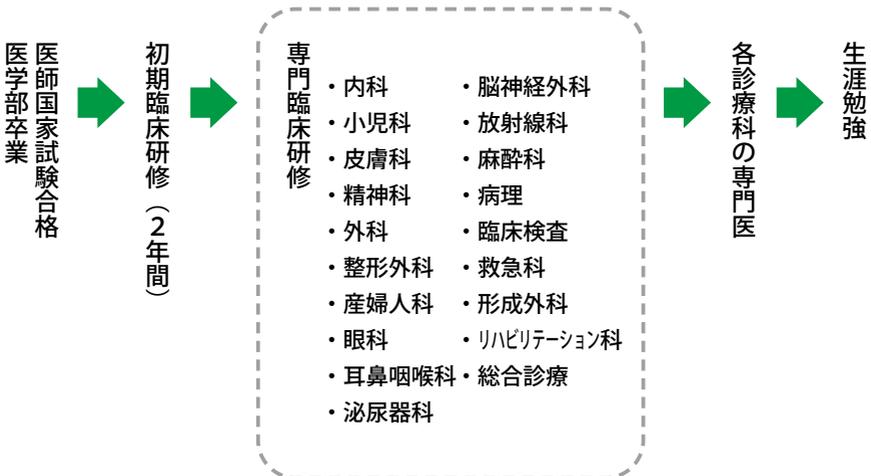


医師としての道

医師免許を取得した後、保険医（保険診療を行う事ができる医師）になるために、病院に勤務しながら2年間にわたり初期臨床研修を受けることが義務付けられています。

この研修では、先輩医師の指導の下で、内科・救急・外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療の必須7科目と選択科目の様々な診療科で経験を積みます。医師としての基本的な診療能力を身に付けるとともに、自分の適性に合った将来の進路を決める2年間です。

初期臨床研修を終えると、多くの医師は自分の専門の診療科と勤務先を決めて、さらに3年以上の専門臨床研修を受けます。この研修で知識や経験を積み重ね専門医の資格取得を目指します。





医師の活躍の場

平成 30 年に行われた調査によると、我が国の医師数は約 33 万人でした。そのうち 95%の医師は「臨床医」と呼ばれる、病院や診療所で診療業務にあたる医師です。そして、5%が医学研究に携わる「研究医」、保健所などの行政機関で公衆衛生を担う「行政医」、企業において労働者の健康管理などを行う「産業医」といった、病院や診療所以外を職場とする医師として従事しています。

医師と聞いて先ずイメージするのは、病院や診療所において病気の治療・予防やリハビリテーションに当たる臨床医だと思います。毎日の暮らしに安心をもたらしてくれる、私たちの命と健康を守ってくれる頼れる存在です。

また、iPS 細胞の研究でノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥先生、ガンの免疫療法につながる研究でノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑先生のように医学に関するさまざまな研究を行っている研究医もイメージしやすいでしょう。研究医は、大学や研究機関などに属し、特定の病気の原因を探ったり遺伝子レベルでの研究を行ったりして、新たな治療法を見つけ出し、未来の医療を拓きます。医学は、このような研究の積み重ねにより進歩しているのです。





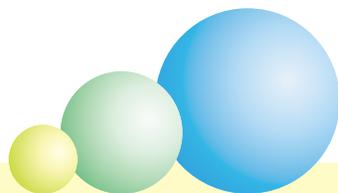
大学医学科における学習の目標 (1)

では、医師になるために進学する全国の大学医学科では何を学び、どのような能力を修めるのでしょうか。医学生が卒業時に到達すべき目標を示したものとして、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」があります。このカリキュラムは、次ページに示す9つの実践的能力を修めることを求めています。ここではそのうち、「4. コミュニケーション能力」と「9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢」について解説します。

まず、「コミュニケーション能力」についてです。医師に求められるコミュニケーション能力は、日常生活での会話よりも遙かに高いものです。相手の意図や感情、考えを理解・尊重した上で、自分の考えを相手へ効果的に伝える工夫や配慮ができることが求められます。医療安全を確保し、また患者さんやその家族が満足する医療を提供するためには、こうした能力がとても重要なのです。

次に、「生涯にわたって共に学ぶ姿勢」についてです。医療は日進月歩です。患者さんに最良の医療を提供するために、医師は最新の医学知識や技能を学び続けなければなりません。そこで、大学の六年間では、医師として生涯学び続けるための「学び方」を修めます。学ぶことは喜びを生みます。大学教育を通して、学び方を身に付けて欲しいと思います。

皆さんは、この二つの能力の修得だけでも大変だと感じるかもしれませんが、でも、怖じ気づくことはありません。チャレンジ精神を持って大学の先生方から指導を受ければ、きっと先輩たちのように大きく成長できますよ。





大学医学科における学習の目標 (2)

医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版を意訳)

1. プロフェッショナルリズム

- 医師には、医療のプロフェッショナル（専門家）として、人の命と健康を守るという責任があります。
- 患者さん中心の医療を行いつつ、常にプロであるための努力を続けていきます。

2. 医学知識と問題対応能力

- 医学は日々進歩しているので、医療に必要な知識を常に取り入れ続けていきます。
- 根拠のある医療と経験をもとに、さまざまな疾患や症状に対応します。

3. 診療技能と患者ケア

- カウンセリングや診断などの臨床技能を身につけて、適切な診療をします。
- 同時に、患者さんの苦痛や不安へ寄り添うことも大切です。

4. コミュニケーション能力

- 患者さんや、そのご家族が納得したうえで最適な治療を選ぶよう、しっかりコミュニケーションを取って、必要なサポートを行います。
- 医療内容をわかりやすく説明し、患者さんやそのご家族と対話して良好な関係を築くことを目指します。

5. チーム医療の実践

- 保健や医療、福祉、介護及び患者さんに関わるさまざまな分野のプロフェッショナルの役割を理解し、協力し合います。

6. 医療の質と安全管理

- 医療では、ささいなミスから医療事故や院内感染などを引き起こす可能性があります。
- 患者さんが安心して治療を任せられるよう、安全性を優先した医療を提供します。

7. 社会における医療の実践

- 地域や国際社会の現状を理解しつつ、医師として何ができるのか考え、実践します。

8. 科学的探究

- これからの医学や医療の発展を目指すために、学術活動や研究活動に積極的に関わり、必要性を十分に理解します。その中で、自分の感情や主観に流されずに物事を判断する思考を身につけます。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

- 医師になってからも自ら進んで学びを続け、他の医師や医療従事者と一緒に知識やスキルを磨いていきます。



我が国の医療の課題

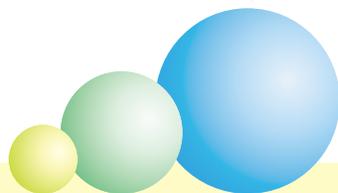
ここでは視点を変え、我が国の医療が抱える課題を説明します。

我が国の平均寿命は、男女総合で 84.2 歳です。先進国の集まりである OECD（経済協力開発機構）加盟国の平均 80.7 歳と比べて長寿です。こうしたことから、日本の医療は世界から高い評価を受けています。その一方で医師の数は、OECD の平均値の約 3 分の 2 であり、とても少ないことが分かります。これまで我が国では医師をはじめとする医療スタッフの懸命の働きによって、世界に冠たる水準の医療が提供されてきたのです。

しかし、我が国の将来のことを考えると不安です。今後、高齢者の人口が増え、それに伴って医療需要は続伸すると予想されています。これに対し、医師数を急激に増やすことは、現実的には難しいことです（OECD 平均まで増やすには、新たに 10 万人以上の医師が必要です）。そこで、我が国では、高齢化が進む社会においても安心して医療を受け続けることができるように、医療の新しい仕組みを築くことが急務になっています。こうした課題解決のため、医療機関は連携を密にし、さらに医療と介護を総合的に提供する取り組みづくりを始めています。

	日 本	OECD 平均
平均寿命	84.2 歳	80.7 歳
医師数	人口 1,000人あたり 2.4 人	人口 1,000人あたり 3.5 人

(出典：Health at a Glance 2019:OECD INDICATORS)





静岡県の医療の現状（1）

我が国の医療の課題がわかりましたね。次に、私たちが住む静岡県の医療の現状をみていきましょう。

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを「健康寿命」と言います。静岡県は下の表に示すとおり、長寿国である我が国の中でも健康寿命が男女とも上位に位置しています。その一方で、医師数は全国平均を大幅に下回り、平成30年の調査結果によると全国平均の85%にとどまっています。先ほどみた OECD 平均と比較すると60%程度となり、静岡県は医師が少ない県であることがわかります。

	データ年	静岡県	全国順位（降順）
人口（国勢調査）	平成27年	370万人	10位
一人当たりの 県民所得	平成29年度	339万円	4位
健康寿命	平成28年	男72.63歳 女75.37歳	男6位 女13位
人口10万人当たりの 医師数	平成30年	210.2人	40位



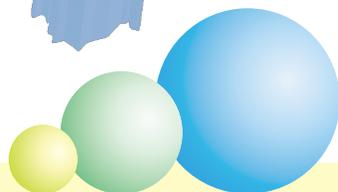
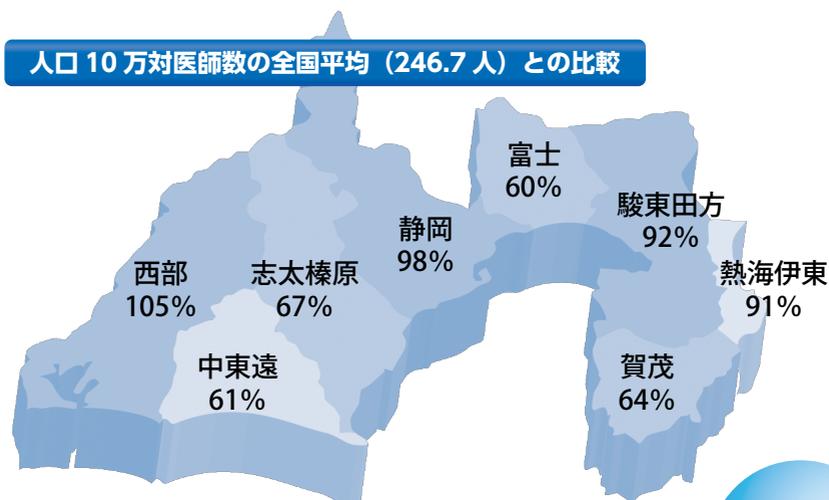


静岡県の医療の現状（2）

ここで、県内を地域別の医師数で比較してみましょう。これによって、静岡県の医療の現状がより鮮明に浮かび上がってきます。静岡県は鉄道、高速道路、空港などの交通網が整い、経済的に恵まれた豊かな県です。しかし、下の図のとおり、賀茂、富士、志太榛原、中東遠において、全国平均に対し60%台にとどまっています。一方、駿東田方、静岡、西部では、全国平均に比較的近い数の医師が従事しています。このように、全体的に医師が不足するとともに、地域偏在もみられるのが静岡県の特徴です。

安心して暮らせる地域として発展し続けるために、医療は欠かせません。しかし、その医療を提供するチームのリーダーである医師が、静岡県では不足しています。

地域社会に貢献する高いところごしを持った皆さんが、将来、静岡県で医師として活躍することを県民は待ち望んでいます。





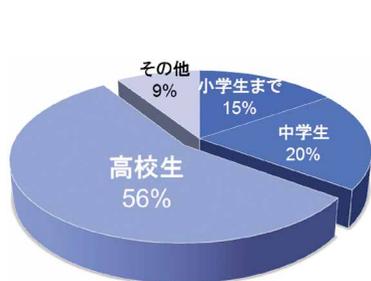
静岡県内で活躍する先輩医師の声

最後に、静岡県内にある公立病院に勤務する医師を対象にしたアンケート調査の結果を紹介します。なお、この調査は浜松医科大学地域医療学講座が行いました。

医師になることを目指そうと思った時期は、円グラフに示すとおり、皆さんと同じ「高校生」のときが最も多く過半数を占めています。また、医師を志した動機は、「医師の仕事に憧れや魅力を感じたから」が最も多く、「社会貢献・人助けをしたいから」が続いています。

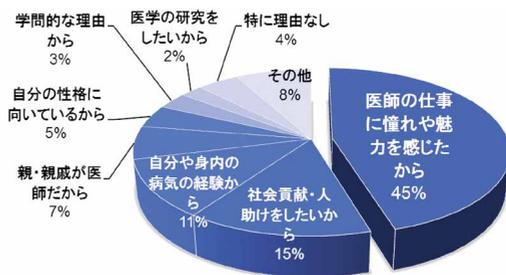
さらに、このアンケートでは、医師としてのやり甲斐を感じるときについても調査を行いました。その結果から、「患者さんから感謝の言葉をかけられたとき」が最多、次いで「患者さんから頼りにされたとき」、「患者さんが治ったとき」の順となり、患者さんとの関わりの中でやり甲斐を感じる先輩医師の多いことが分かりました。

■ 医師になることを志した時期



(有効回答数：272)

■ 医師を志望した動機



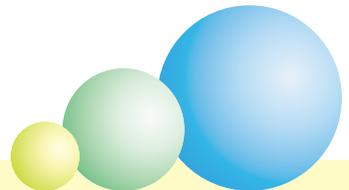
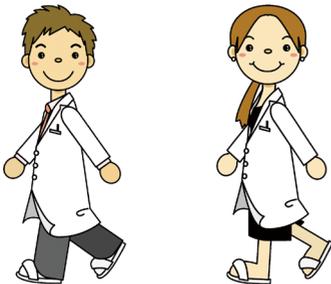
(有効回答数：249)

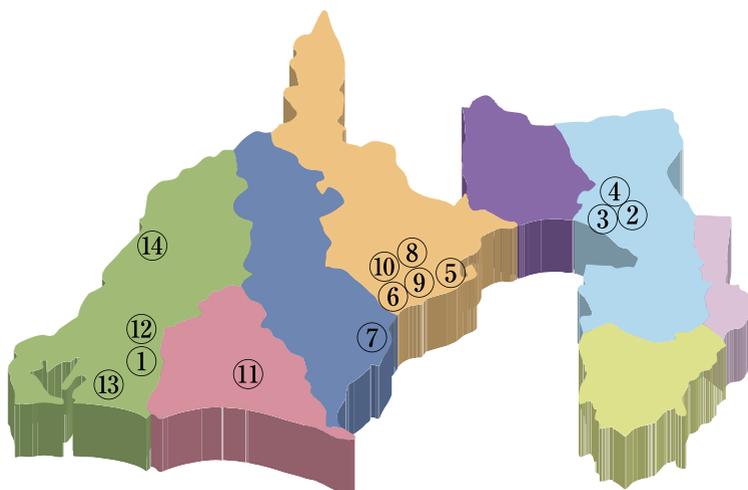


本小冊子を読んで ころざしの原点を記録しよう

病院長のメッセージや県内の医療の現状を読んでどう感じましたか？皆さんが将来を担う医師として学び、活躍していただけたら幸いです。

ここに皆さんのころざしの原点を記録してください。そして、受験勉強に追われて意志が揺らぎそうになった時には、この小冊子を取り出してください。きっと、自分が目指す人生を歩む勇気を与えてくれると思います。





メッセージ掲載病院一覧

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 浜松医科大学医学部附属病院 | ⑧ 静岡県立こども病院 |
| ② 静岡医療センター | ⑨ 静岡県立総合病院 |
| ③ 沼津市立病院 | ⑩ 静岡県立こころの医療センター |
| ④ 静岡県立静岡がんセンター | ⑪ 中東遠総合医療センター |
| ⑤ 静岡市立清水病院 | ⑫ 浜松赤十字病院 |
| ⑥ 静岡市立静岡病院 | ⑬ 浜松医療センター |
| ⑦ 焼津市立総合病院 | ⑭ 浜松市国民健康保険佐久間病院 |

令和3年9月発行

国立大学法人 浜松医科大学 地域医療学講座

〒431-3192 浜松市東区半田山 一丁目20番1号 電話 053-435-2060